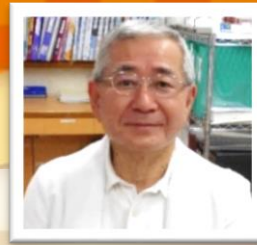




新年のご挨拶

院長 松永 信



明けましておめでとうございます、謹んで新春をお祝い申し上げます。

旧年中は大変お世話になり、誠にありがとうございます。
新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月から感染症の5類となり、インフルエンザと同等となりましたが、感染力、重症度は依然としてインフルエンザより強く、まだまだ気を緩めるわけにはいきません。

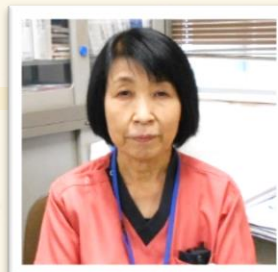
世界に目を向けると、ヨーロッパや中東では戦争の火種が絶えませんが、今年こそ平和な世界が実現してほしいと願っています。

当院は一昨年、病院の中長期計画を作りましたが、計画に一步一步近づき、患者さん・地域の皆さんの健康づくりに少しでもお役に立つことができるように精進していくつもりです。

本年もどうぞよろしく願いいたします。

~復活と再生の年です~

新年明けましておめでとうございます。 看護部長 西島陽子



新たな年を迎え、気持ちを引き締めています。
昨年は、元旦から能登地震によるニュースで始まり、地震の傷が癒されることなく、能登豪雨災害が発生し自然の怖さを痛感しました。自然災害に対して様々な予測ができるようになって、地球の温暖化の影響は四季にも変化がおき、夏が長く、人間の体も不調を起こしてしまいます。

また、コロナが5類相当になり、様々な病気も猛威を振るい、免疫のない子供たちは次から次へと罹患して行きます。本当につらい年だったなと思います。

病院においては、面会が再開されましたが以前のようにできないことでお叱りを受けました。当院は、高齢者の方の安心・安全の提供を考えながら面会について変化検討を続けております。基本理念に、「患者様の在宅復帰・社会復帰に向けてあらゆる努力をすると共に、障害を持ちながらも、人間らしい生活が送れるよう支援する」とあります。

今年の干支は巳年です。脱皮する蛇から「復活と再生」を意味します。
また、新しいことが始まる年になるとも言われ「実を結ぶ」年ともいわれています。何度も再生し、強い生命力や弛まぬ努力をし、患者様の療養生活が安心・安楽にできるために看護・介護の力を強めていきたいと思っております。
本年もどうぞよろしく願いいたします。



第32回 日本慢性期医療学会（横浜）

参加・発表しました！



テーマは、
「嚥下チームにおける
摂食・嚥下障害患者に対する看護師の役割」

発表に取り組むことで、看護師の役割について改めて「看護の深さ」を感じ勉強となりました。準備と練習で大変でしたが貴重な経験となりました！



看護・チームスタッフ
一同頑張ってます！

摂食嚥下チームからお知らせ

人生の楽しみは「おいしい食事」という方は多いのではないのでしょうか。加齢とともに、また、さまざまな病気により、食べ物をうまく食べられない、飲み込みづらくなった状態を「摂食嚥下障害」といいます。低栄養や誤嚥性肺炎などの危険もあるため当院では医師・リハビリスタッフ・管理栄養士・認定看護師など多職種からなる「摂食嚥下チーム」でサポートしています。



こんな症状はありませんか？

活動内容

- ◆ 食事の時にせき込む
- ◆ 飲み込みが困難になった
- ◆ 食事に時間がかかる
- ◆ 食後に痰が増えるようになった
- ◆ 口腔内環境・食事摂取状況・栄養状態・服薬内容などの評価
- ◆ 必要に応じ、摂食嚥下機能検査
- ◆ 週1回カンファレンスを開催し、患者さんの情報を共有
- ◆ 必要に応じ患者さんやご家族などへ嚥下状態について説明、食事摂取に関する指導
- ◆ 栄養サポートチーム、褥瘡対策チーム、認知症ケアチームとの連携

患者さんとのエピソード

メロンパン食べたよ！



先日、嚥下障害のある患者さんから大好きな「メロンパン」が食べたいという希望があり、口腔ケアをはじめとする嚥下訓練をすることで軟らかく調理したメロンパンを、ご家族と一緒にわずかな量ですが味わい・食べることができました。ご家族より「お父さん！よかったね！おいしかったね！」との会話に看護師とチームメンバーで喜びを共有することができた一面でした。

口から食べることが困難な嚥下障害患者さんにとって、一口も食べられないではなく、一口だけ食べられること・味わうことをサポートできるようにがんばっていきます。



嚥下外来の相談・予約
とお伝えください

医療法人和同会
宇部リハビリテーション病院
☎ 0836-51-3111